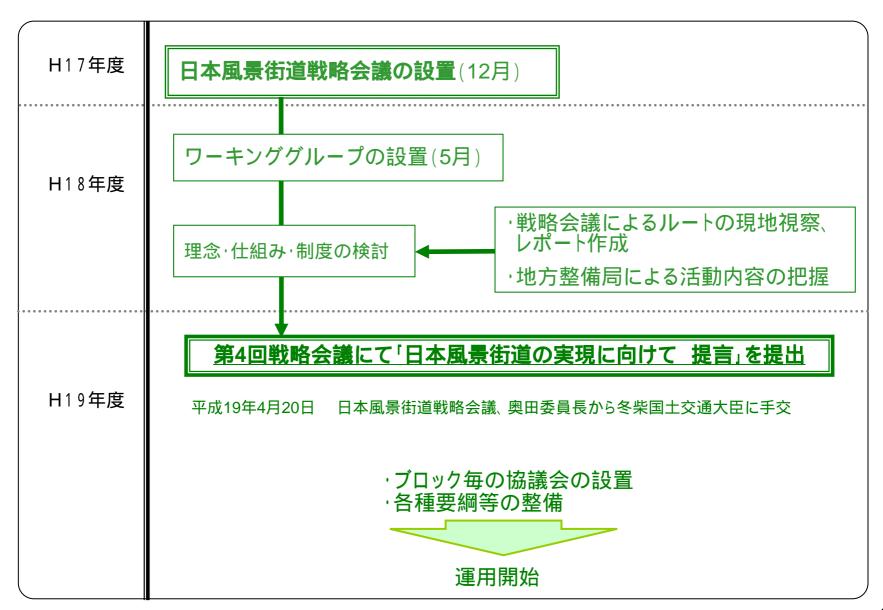


1. 日本風景街道に関するこれまでの経緯



2.日本風景街道戦略会議

<メンバー>

(委員長) 奥田 碩 社団法人 日本経済団体連合会名誉会長

(副委員長) 中村 良夫 東京工業大学名誉教授

家田 仁 東京大学大学院工学系研究科教授

奥原 祥司 社団法人 日本青年会議所会頭

石田 東生 筑波大学大学院システム情報工学研究科教授

岩沙 弘道 计团法人 日本経済団体連合会国土 都市政策委員長

江頭 邦雄 社団法人 日本経済団体連合会観光委員長

大石 久和 財団法人 国土技術研究センター理事長

隈 研吾 建築家·慶應義塾大学教授

コシノ ジュンコ ファッションデザイナー

新町 光示 社団法人 日本旅行業協会会長

千田 稔 国際日本文化研究センター教授、人文地理学会会長

田中 節夫 社団法人 日本自動車連盟会長

玉川 孝道 株式会社 西日本新聞社副社長

中村 徹 社団法人 日本観光協会会長

松田 裕子 財団法人 日本農業研究所研究員

森野 美徳 都市ジャーナリスト、日経広告研究所主席研究員

柳生 博 財団法人 日本野鳥の会会長

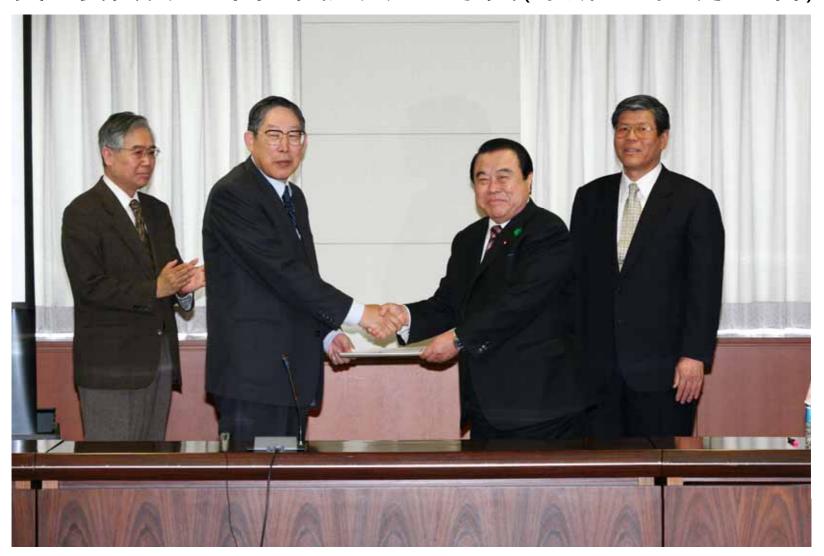
横島 庄治 NPO法人 環境システム研究会理事長







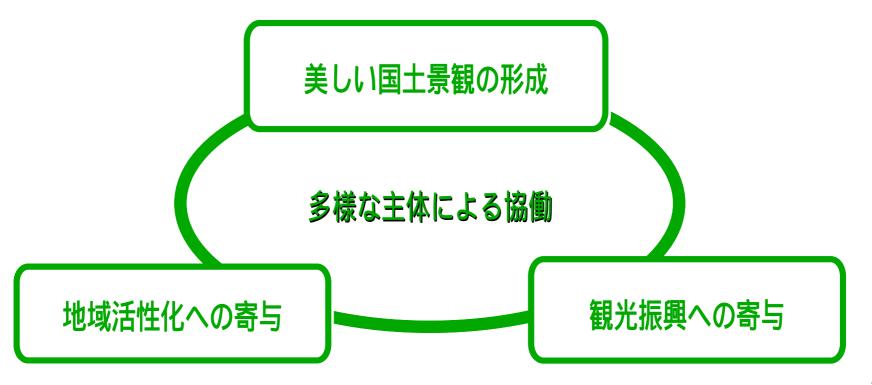
「日本風景街道の実現に向けて 提言」を 奥田委員長から国土交通大臣に手交(平成19年4月20日)



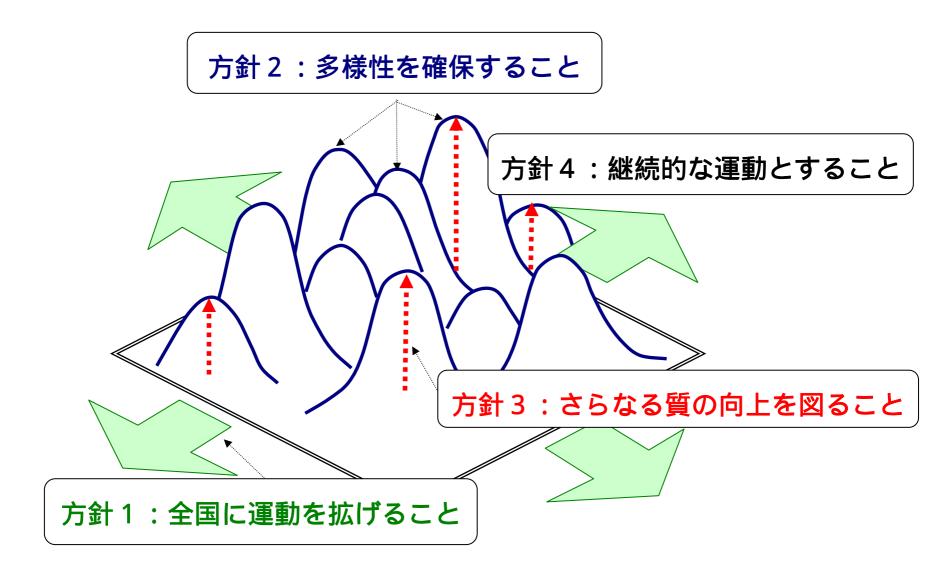
3.「日本風景街道の実現に向けて 提言」の概要

<日本風景街道の理念~目的~>

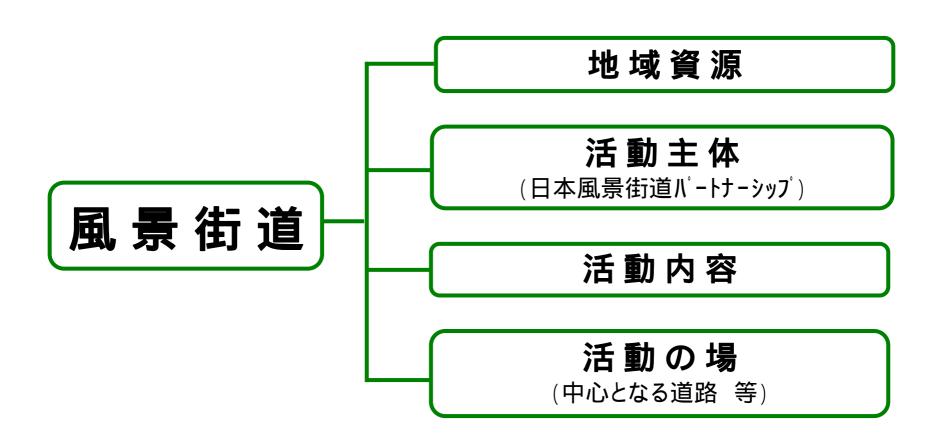
道路ならびにその沿道や周辺地域を舞台に、多様な主体による協働のもと、景観、自然、歴史、文化等の地域資源を活かした国民的な原風景を創成する運動を促し、以て、地域の活性化、観光の振興に寄与する。



<日本風景街道の理念~運動方針~>



<日本風景街道を構成する要素>



<地域資源>

景観資源

街並み・沿道景観を形成する資源、人工物、水辺、夜景、港、棚田、田畑等

自然資源

世界遺産、国立·国定公園、山岳、川、滝、峠等

歷史資源

街道史(旧道·古道)、寺社仏閣、歴史的建築物、宿場町、産業遺産、歴史的人物 等

文化資源

世界遺産、重要文化財、伝統芸能、祭り・行事、食文化等

体験·交流資源

レクリエーション施設、体験・交流施設(体験農場等) 等

施設·情報資源

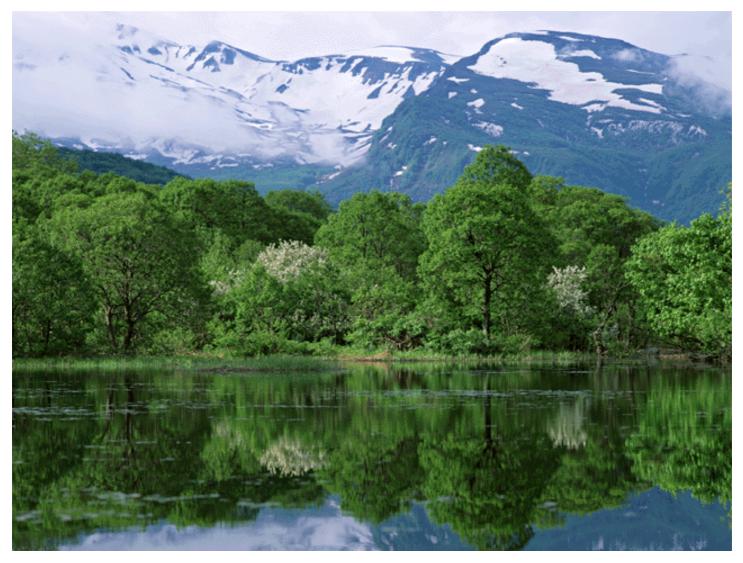
道の駅、温泉、市場、屋台、特産品等

景観資源



北海道富良野市 富良野東大演習林

自然資源



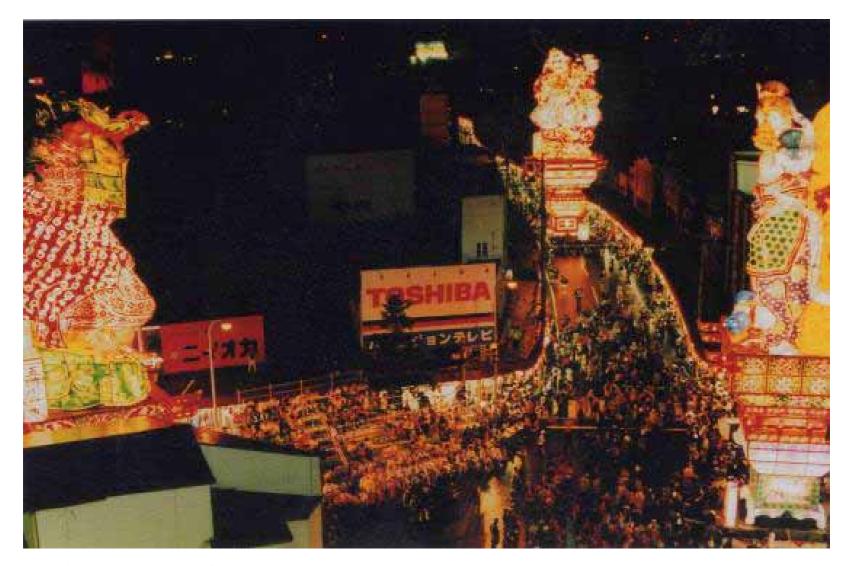
秋田県由利郡仁賀保町 扇谷地溜池

歴史資源



埼玉県川越市

文化資源



青森県五所川原市

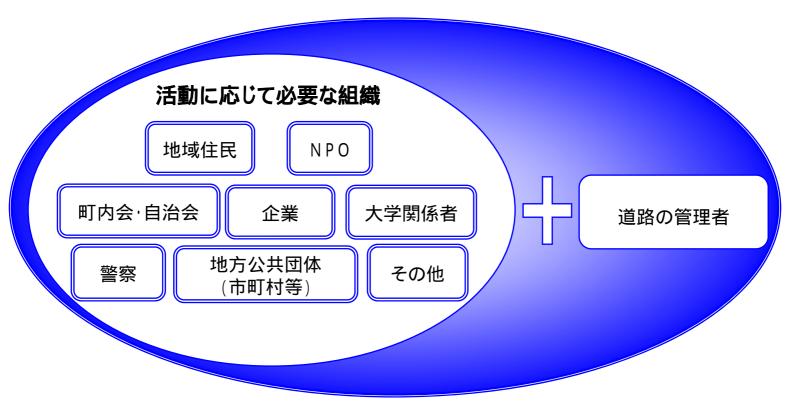
体験·交流資源



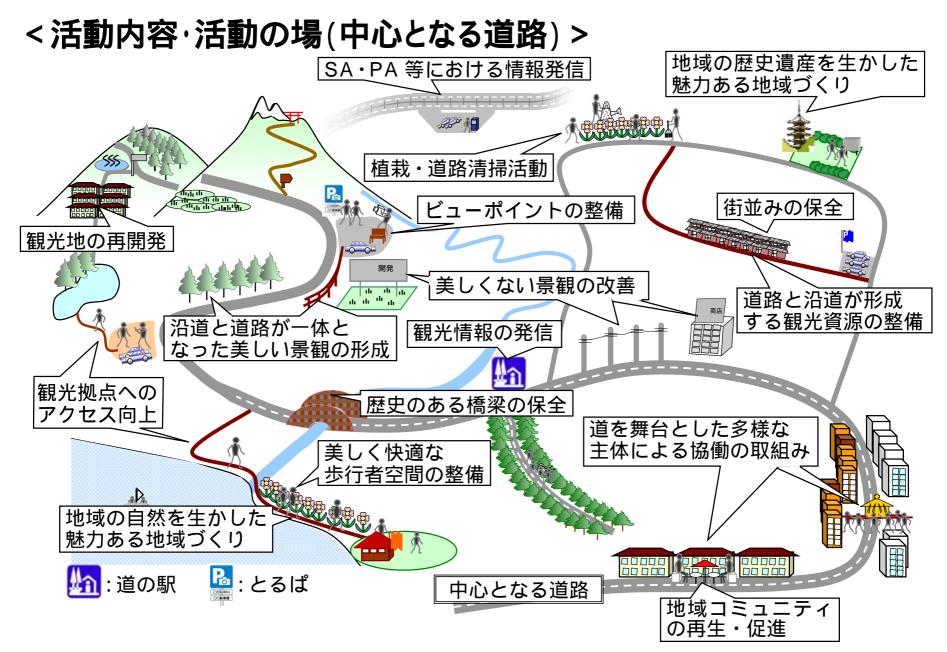
石川県輪島市

<活動主体(風景街道パートナーシップ)>

風景街道パートナーシップ



「風景街道」毎に設置



景観に配慮した観光拠点へのアクセス道路の整備





国宝「投入堂」



広告看板の撤去



上記写真はイメージです 17

電柱・電線の地中化



古道・旧道の発掘



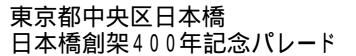
熊野古道

六十里越街道

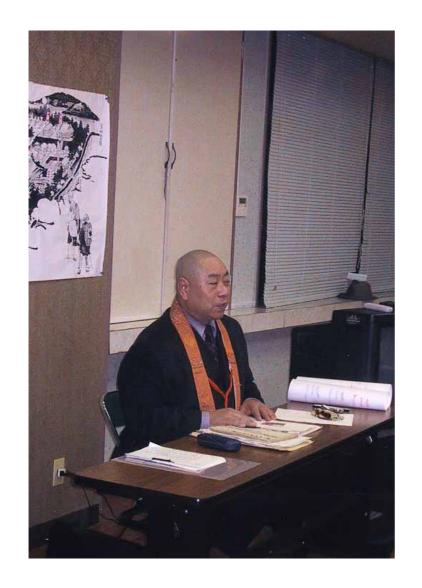
オープンカフェやイベントの実施



横浜市



語り部・ボランティアガイドの育成





観光に寄与する情報発信(ガイドマップ・ガイドブックの作成)



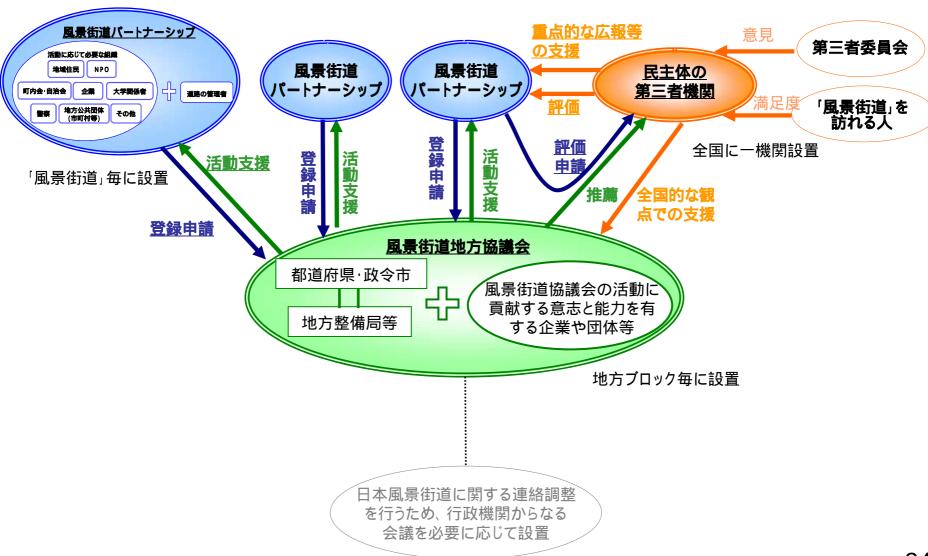
22

スタンプラリーの開催

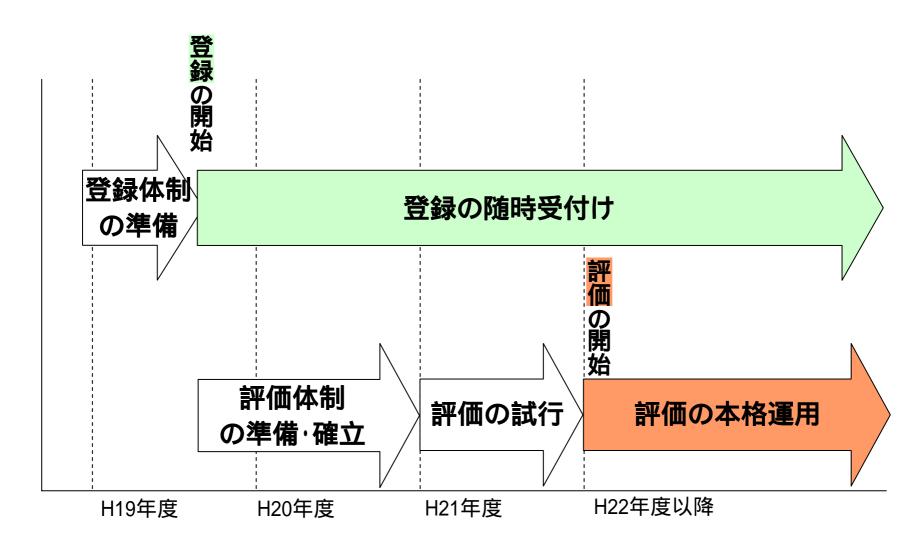




< 日本風景街道の基本的な枠組みの具体例 >



< 実施展開の考え方 >



<おわりに>

平成19年度は、「日本風景街道元年」

- ・目的、運動方針の理念を広く周知、理解を求める
- ・理念に合致する活動や団体との連携
- ・活動団体間の意見交換等を積極的に実施

「日本風景街道」を長期にわたり育成し、<u>国民的運動として定着</u>させることが重要

また、官民の密接な連携とそれを支援していく枠組みが必要不可欠